

学校教育目標

豊かにつながり
たくましく
ともに輝く子

横浜市立つつじが丘小学校 学校だより

10月号

Web Site <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tsutsujigaoka/>

E-mail y3tutuji@edu.city.yokohama.jp (学校代表アドレス)

令和5年 10月2日 発行
横浜市立つつじが丘小学校
TEL 045-981-7117
FAX 045-983-4548

デジタルもアナログも、子ども自らが選択できる力

副校長 小山 進治

幼きは幼きどちのものがたり葡萄のかげに月かたぶきぬ 佐佐木信綱

「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉がありますが、朝晩は秋めいた風がつつじが丘小の校庭にも吹き抜けていきます。毎朝正門で行き交う子どもたちの「おはようございます。」の挨拶は変わりませんが、服装は徐々に夏から秋へと変わりつつあります。少しずつ日が短くなる秋。冒頭の短歌は「幼いものたちは幼いもの同士で語らいが尽きない様子、そのぶどうの木のかけに月が沈んでいく頃となるまでに。」という意味です。秋の夜長に子どもたちが時間を忘れてお話しする様子を歌人の佐々木信綱さんが詠ったものです。私はこの短歌から日頃の本校の教室の風景を思い浮かべました。授業場面にもよりますが、課題について熱心に話し合い、語り合う子どもたちの姿を学校をまわっていると一日何度となく目にすることができます。担任や担当の教師がその語り合いを見守り、時には課題へと引き寄せ、学びを深める風景です。時間を忘れて話し合う、そんな学びの姿が成立している教室。そしてそこには教科書やノートに加えてタブレット端末が欠かせない存在となっています。学びの道具であるとともに、コミュニケーションツールとしてもタブレット端末を活用した学習は本校でもすでに日常の風景となっています。

コロナ禍の中の必要感も加わり、タブレット端末を中心としたICT活用は急速に学校文化にも広がり、定着しつつあります。本校でも1年生から6年生まで、様々な場面で積極的にタブレットを活用しながらの学びが展開されています。誇るべきことは本校の教職員が初任者からベテランまで、キャリアの長さに関わらず、その効果を考えて学びに取り入れていることです。効果的なデジタルの活用のために必要なことは、実はデジタルとアナログとのバランスであると私は考えています。そのバランスを支える学びこそが自ら観て聴いて学ぶ体験的な活動であります。夏休み明けのこの1か月間、子どもたちは教室だけでは学べない経験を重ねています。生活科や総合的な学習の時間を通してかかわる専門家や地域の人からの学び、校外学習で体験する本物を味わう学びです。先日、4年生は梅が丘自治会会長の佃様を3年生は本校学校運営協議会委員の豊崎様を招いての総合的な学習の時間の授業を行いました。また、9月20日には5年生がみなとみらいホールでの心のふれあいコンサート鑑賞、6年生が横浜市歴史博物館での館内や屋外遺跡の見学を実施しました。実際に本物のひと、こと、ものに触れ、みなぎるあふれる体験をするからこそ、コミュニケーションの必要性や伝えたい思いが高まったようです。その学びをつなぐツールとして、アナログもデジタルも両方がバランスよく必要になってきます。相手の話をじっくりと聴く子ども、メモを熱心にとって考えを整理する子ども、タブレットで資料を活用しながら伝え合う子ども。体験的な豊かな学びから思考し、学習場面に応じて、デジタルかアナログかを選択できる力を子どもたちが身に付けていくことがこれからの学校生活には必要不可欠であると私は思います。

先日、今年度の全国学力・学習状況調査の結果を分析とともに皆様に公表しました。本校は調査教科の国語と算数の双方とも全国、神奈川県の前年正答率を上回る結果となりました。評価の観点ごとに見ても、全てにおいて平均正答率が上回っていました。私が注目したのは、学力調査と合わせて実施された生活面や学習面の意識調査です。その中で全国、神奈川県と比べて特徴的なよさとして、「家庭学習の時間や読書時間が長い。」「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えている児童が多い。」「授業で学んだことを他の学習で生かしている」と回答した児童が多い。「総合的な学習の時間で、自分の課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表する活動に取り組んでいる児童が多い。」などがありました。学力向上を支えているのが、本校の児童や保護者の意識、地域との関係であることが伺えるとともに、体験的な活動やデジタルとアナログの双方を活用することがやはり重要であると感じました。子どもたちが時間を忘れるぐらいのめり込み、学び合う場面にデジタルもアナログもバランスよく活用できる、実生活に生きる学びを今月も重ねていきます。